

令和4年度指定管理者モニタリングシート（令和3年度実績）

1 施設等の概要					
施設名	東久留米市立生涯学習センター（愛称：まろにえホール）			所管課	教育部生涯学習課（内線3212）
指定管理者名	JN共同事業体（株式会社JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ株式会社）			指定管理者所在地	東京都港区芝3-23-1
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		利用料金制の有無	有	他自治体での指定管理者実績 中野区もみじ山文化センター、台東区立浅草公会堂、西東京市保谷こもれびホール他
施設の設置目的	市民の生涯学習の促進及び振興を図る。				
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	施設の適正な維持管理・環境改善の実施。ホール事業（落語・クラシック音楽・ダンス等）を年10回程度開催。また、親子や子どものワークショップ、成人講座を多数開催している。				

※本施設は平成22年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成22年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	元年度	2年度	3年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				2年度-元年度	3年度-2年度		元年度	2年度	3年度	2年度/元年度	3年度/2年度
指定管理料	84,093,000	90,917,000	85,459,000			86,823,000					
使用料	7,898,610	3,332,885	6,186,805				117,337	39,403	54,842	33.6%	139.2%
成果配分金	2,512,870	638,743	0	6,824,000	-5,458,000						

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄：指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載（市の決算上は翌年度収入）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休止日数：令和2年度64日間、令和3年度16日間

※令和元年度指定管理料には新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に伴う補償金322千円を含む

※令和2年度指定管理料には東久留米市生涯学習施設新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金5,000千円を含む

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	4
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	3
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	3
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	4
経費の節減など効率的な運営	＜収支の改善等＞利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	3
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	3
	＜職員の専門性、配置体制＞職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	3
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	＜経営基盤＞指定管理者（母団体）は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	3
施設の特性によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画書を参考に、評価の視点を設定する	＜生涯学習活動の充実＞学習活動の振興を図るために、関連情報の収集・提供、相談機会の提供を充実させているか	3
	＜サービスの向上と運営の効率化＞施設管理運営に対する利用者の満足度を調査・分析し、サービスの向上と運営の効率化を図っているか	4
	＜地域との連携の強化＞すべての市民を対象とした参加型事業を充実させるとともに、市内の公共施設・商業施設等との連携を強化しているか	4
	＜新たな利用者の開拓と利用率の向上＞ホールをはじめとする施設全体の利用率を増加させるとともに、登録団体数についても増加が図れているか	3
合計点数		64点/100点

※評価は、5（期待を大きく上回る）、4（期待以上）、3（期待通り）、2（期待をやや下回る）、1（期待を下回る）の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）
<p>*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、東京都感染症拡大防止ガイドラインを遵守した施設運営を行った。また、4月25日～5月11日の緊急事態宣言による臨時休館のほか、5月から10月において木曜日、土曜日、日曜日はワクチン接種会場として提供したこと、3年2月1日～9月31日のスプリンクラーポンプの修理期間ホール利用を見合わせる（フラット利用を除く）など、様々な利用者数を減少させる要因があったが、最終的な利用人数は前年比139.2%の増加となった。 ・東日本大震災被災地復興支援イベント「まろにえ祭り」を上記の様々な制約がある中で企画し、市民が一体となって楽しめるイベントとして開催した。例年を大きく超える19団体の応募があったロビーパフォーマンスの企画では、出演団体代表者と事前のミーティングを行い、当日の感染症対策等を共有・徹底を図った結果、大きな時間のズレや事故等もなく無事に全団体がパフォーマンスを行うことができた。市民参加型のイベントとして、地域との連携強化につながるものと評価できる取り組みであった。 ・ホールを使用する事業（ホール事業）においては、指定管理者により全世代向けの良質な企画が開催された。上記の制約があったため公演日程を12月～3月にリスケジュールし、「東儀秀樹コンサート」、「おしゃべり映画館スクリーン名曲コンサート（生島ヒロシ、益子侑）」、「まろにえクリスマスコンサート」、「みんなのクラシックコンサート」、親子向けミュージカル「眠れる森の美女」、親子で鑑賞できる「まろにえびよコンサート」、人気落語家による「二人会」を実施した。 ・各種教室・講座では小中学生を対象にした「オリジナルバスボムをつくろう」などの放課後講座を毎月実施、夏休みには小学生向けに「夏休み自由研究講座」「ダブルダッチワークショップ」などを開催し体験型の講座を展開している。また放課後講座には市民講師にも講師を依頼した。大人向けの講座としては、「初めてのスマホ講座」が人気でスマートフォンの初心者からの応募が多くある。 ・施設維持管理については、事業計画に基づいた施設の維持管理に加え、協定に基づいた小破修繕が実施され適切に管理された。 ・利用者アンケートの年1回実施に加え、指定管理者の自主事業を実施時には内容及び希望についてアンケートを行い、事業の評価及び利用者のニーズ把握に活かしている。また、利用者懇談会を年2回開催し、委員に学識経験者も交え利用者代表と直接意見交換する機会を設けている。

令和4年度指定管理者モニタリングシート（令和3年度実績）

5 総合評価

公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の実態によるサービス提供	
・公平性の確保	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した評価の視点 	B

A期待を大きく上回る
B期待以上
C期待通り
D期待をやや下回る
E期待を下回る

6 次年度以降に向けた方向性

* 3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等の外的要因にも対応しながら生涯学習の機会を継続的に提供していくことが期待されている。
- ・民間事業者のノウハウを生かした企画の実施により地域住民と連携したイベントや著名なアーティストによる良質なホールイベントを実施していくことが望まれている。
- ・利用者懇談会や利用者アンケートの結果による利用者ニーズを踏まえた改善を実施していくことが求められる。
- ・市施設整備プログラム等の市の計画見直しに対応して市担当者とは十分協議し、施設の維持管理計画に改めて反映していくことが求められる。
- ・SNS、メディアを活用等により生涯学習情報の新たな情報発信方法を検討し、新たな利用者層ともつながっていく運営方法の工夫が必要である。